

就職活動振り返りアンケート調査

2014年10月
株式会社アスリートプランニング

このたび弊社が運営する「アスリート就職ナビ」会員を対象に、就職活動を振り返るアンケート調査を実施いたしました。本調査では、就職活動を終えた 2015 年 3 月卒業予定者を対象に、体育会学生であることが就職活動でどのように影響したのか、具体的な活動量はどのくらいなのかを明らかにしております。2016 年 3 月卒業予定者からは就職活動のスケジュールが変更となることもありますので、彼らの活動に役立てていただければ幸いです。

<調査概要>

調査対象：アスリート就職ナビ会員のうち、就職活動を終了した学生

有効回答数：263 名

調査方法：Web アンケート

調査期間：2014 年 9 月 22 日～30 日

<調査項目>

- ・就職活動における行動量
- ・体育在线セミナー受講の有無
- ・企業を探す方法
- ・体育会経験の評価について
- ・体育会であるがゆえに困ったこと
- ・大学の就職課・キャリアセンター利用有無
- ・就職活動において後悔していること

<本資料について>

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては、下記までご連絡ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

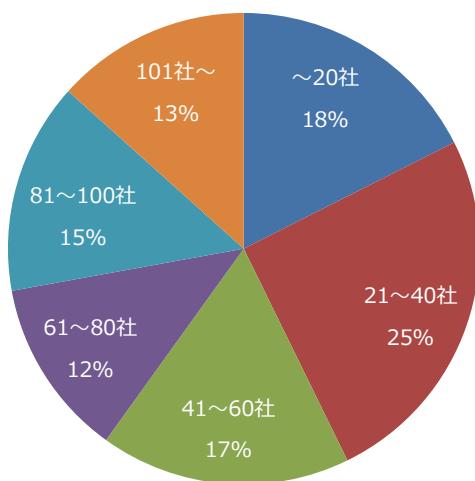
株式会社アスリートプランニング HR 事業部 開発本部 太田 浩之

Tel: 03-5937-8460 Mail: ohta@athlete-p.co.jp

1.エントリー社数は「21～40社」が25.1%でトップ

エントリー社数の平均は63.3社となります。最も多い学生は300社、少ない学生は3社と大きな差があることが分かりました。

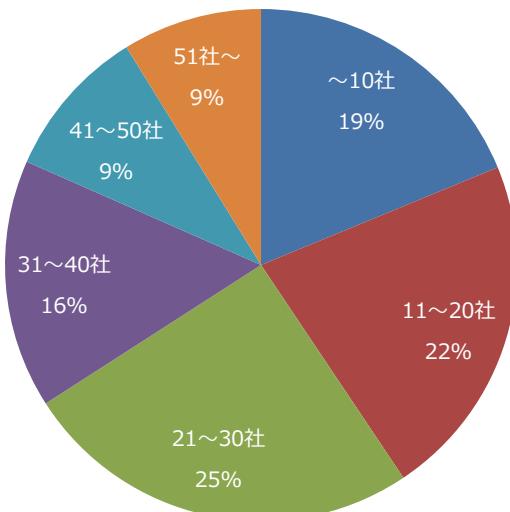
エントリー社数



2.セミナー・説明会参加社数は平均30.2社

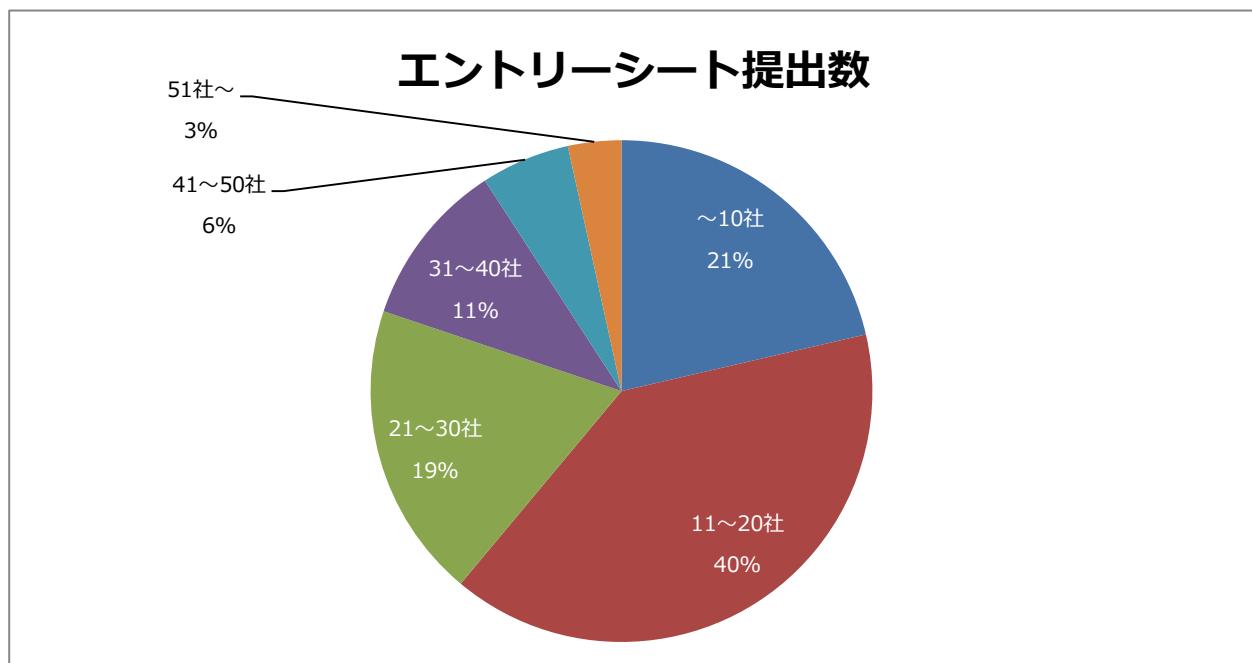
セミナー・説明会への参加社数はエントリーとほぼ同数の「21～30社」が25.1%でトップとなりました。平均は30.2社で、**エントリー社数の約半数**となっております。

セミナー・説明会参加社数



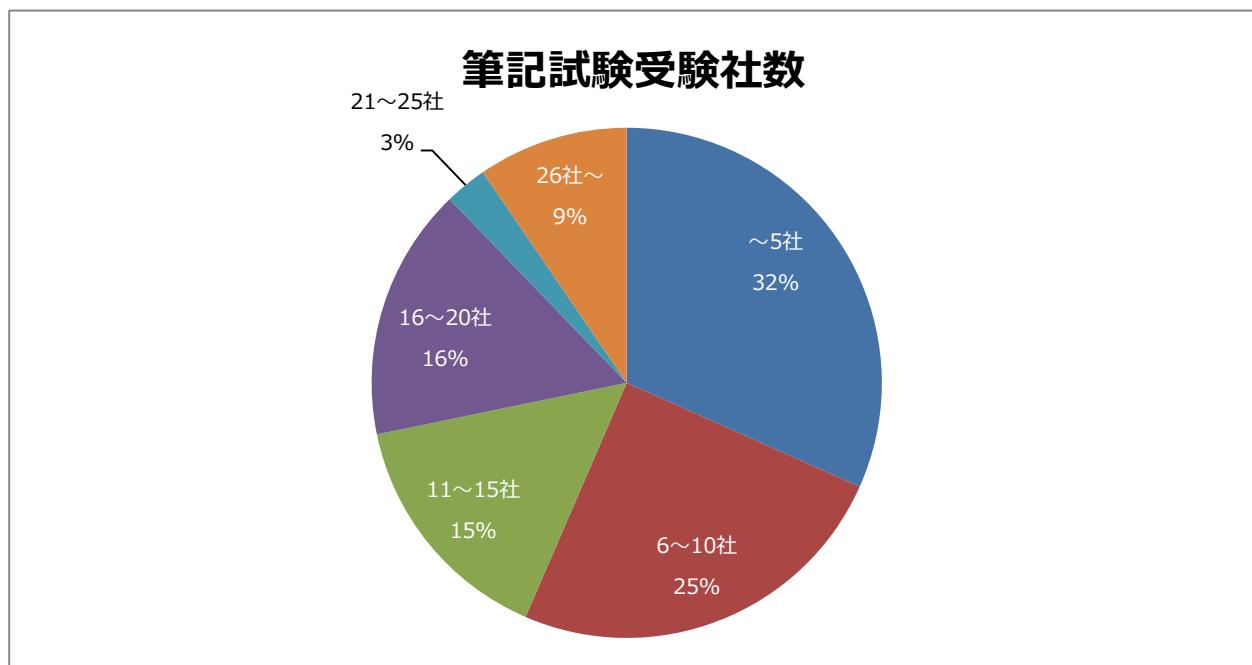
3.エントリーシート提出数は平均22.4社

最も多かったのは「11～20社」で、39.5%の学生が該当しました。「～10社」と合わせると60.8%となり、**約6割の学生が20社以下**となっていることが分かります。



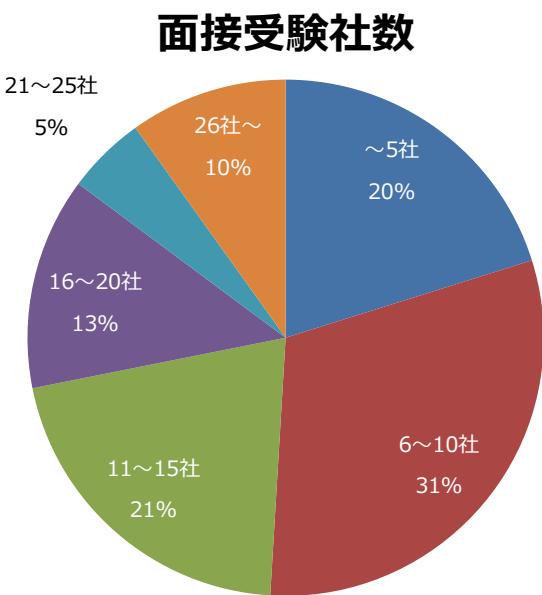
4.筆記試験受験社数は「～5社」が31.6%でトップ

次いで「6～10社」が24.7%となり、合わせると**10社以下で56.3%**と過半数を占めることが分かります。平均は12.4社となりました。



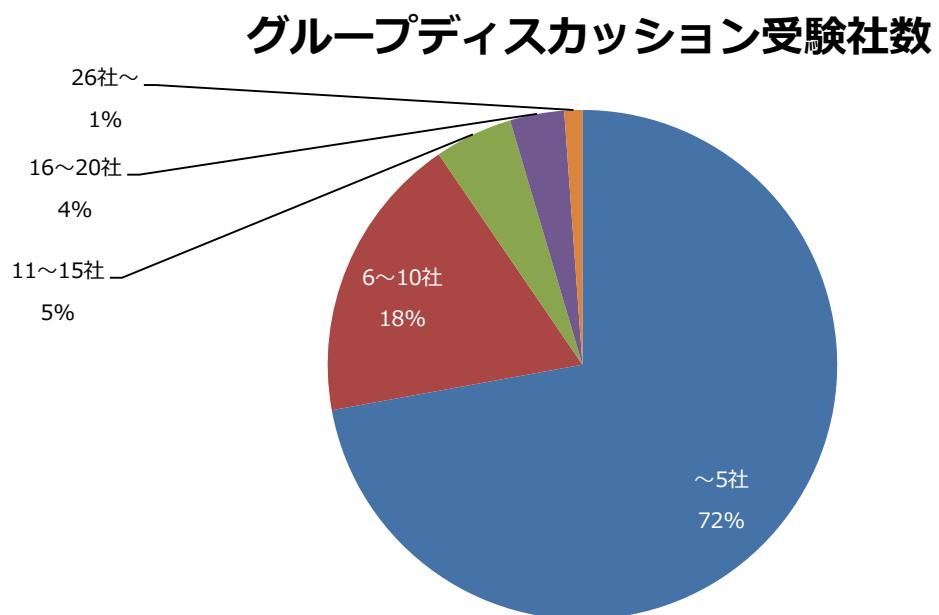
5.面接受験社数は平均 13.2 社、「6~10 社」がトップで 30.8%

「～5 社」と合わせると、**51.0%の学生が 10 社以内で内定を獲得**し、就職活動を終えていることが分かります。



6.グループディスカッション受験社数は平均 5.3 社、「～5 社」が 71.9%でトップ

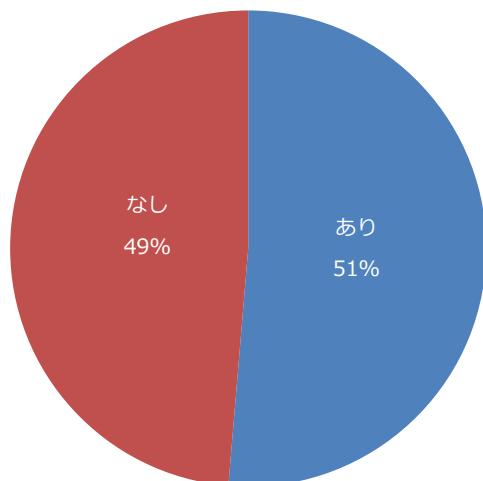
7割以上の学生が、5社以内という結果となりました。グループディスカッションを実施しない企業を受験しているか、もしくは監督・コーチの紹介などで個別面接を実施していることが考えられます。



7. 約半数の学生がオンラインセミナーを受講

51.3%の学生が、オンラインセミナーを受講したことがあると回答しました。実施する企業が増えたこと、スマートフォンなどのツールが進化したこともあり、部活で就職活動に時間が取れない学生は積極的に活用しているようです。

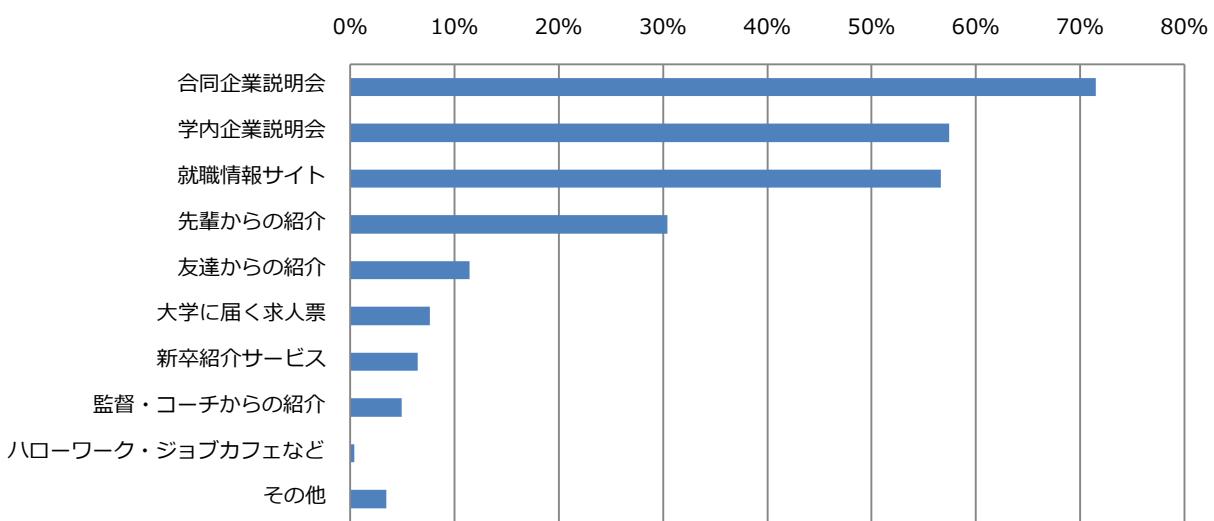
オンラインセミナー受講経験



8. 企業を探す方法は「合同企業説明会」がトップ

「就職情報サイト」も 56.7%と高い数字となっておりますが、それ以上に「合同企業説明会」が 71.5%でトップとなりました。「学内企業説明会」も 57.4%と高く、**多くの学生が直接企業と会える場を重視している**ことが分かります。

企業を探す方法



9.体育会経験は多くの企業から評価される一方、それだけで内定獲得は難しい

体育会での経験が企業からどのように評価されたと思うか、自由にコメントしてもらった結果、下記のような意見が出てきました。高く評価されたという意見が多い一方、所属しているだけでは評価されないため、**自らの経験をきちんと伝えるとともに、企業のことを調べるなど熱意を持って選考に臨むことが重要**と感じた学生が多いようです。

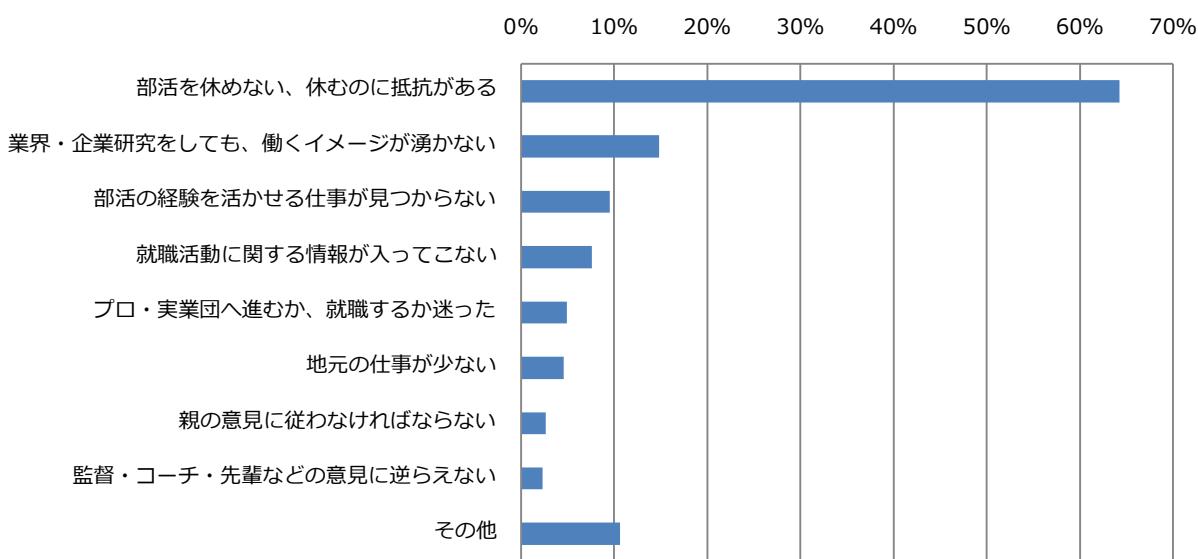
【体育会経験の評価に関するコメント】

- ・部活の経験を話すと非常に有利です。また人事の方が部活経験者だと尚更です。
- ・他のサークルに所属している学生と違って、努力している点を認めてもらう事ができたのと説得力があったと思う。
- ・体育会での経験を熱く語ることはあくまで武器の一つとして考えるべきで、**一番大事なことはなぜその会社、業界で働きたいか**を語れるほうが圧倒的に重要だと感じた。
- ・ただ体育会に在籍しているだけでは意味がないと感じました。自分は部活をとても頑張った自信があったので部活のエピソードを聞いて下さったのはとても嬉しかったです。
- ・体育会だから有利という訳ではないが、**大学生活の中で本気で何かに取り組んでいたということは高く評価**してもらえた。
- ・体育会に所属していて辛い練習に耐えているが、部員の数が多く一度も試合に出たことがないことにすごい驚かれ評価された。
- ・部活しか今までやってない？と意地悪なことを言われたこともありましたが、**体育会に入っていることで話せることは多くありました。**
- ・選手として際立った成績は残せておらず、周りの他の学生に圧倒されることもあったが、4年間続けてきたことを自信を持って伝えたことは、社員の人々に伝わったと思う。
- ・私は見た目が体育会系に見られないことが多かったのですが、**部活について話すと明るさや礼儀正しさを褒めていただけました。**
- ・体育会はステータスではなく、単なる経験。**生かすも殺すも自分次第**だった。
- ・**部活動は仕事と似ている**部分がある。
- ・一般生で入学しながら主将をやっていたこともあり、そこが特に高く評価されたと思う。
- ・所属しているだけではダメで、**そこから何を得たのかをしっかり話せたことが評価された。**
- ・部活でやってきたことに自信を持っていれば何も心配することはありません。
- ・自分の頑張ってきた競技について、その魅力を伝えることができれば、どれだけ情熱を持ってやっていたのかを理解してもらいました。
- ・体育会と**そうでない学生との一番大きな違いは『雰囲気』**。体格や話し方等、身に染み付いたその雰囲気は必ず武器になると思います。ただ、「何も考えず」に就職活動に臨む人がとても多いことも気になりました。「なぜ働くのか」ということを真剣に考えて、自分の欲求に正直になって、就職活動に挑んでほしいです。

10. 体育会であるがゆえに困ったことは、圧倒的に「部活を休めない」

体育会であるがゆえに困ったことを尋ねたところ、64.3%の学生が「部活を休めない、休むのに抵抗がある」ことを挙げています。多くの部活動は**週5~6日程度の練習があり、就職活動に使える時間が限られていることが、最も大きな障壁となっている**ようです。

体育会であるがゆえに、困ったこと



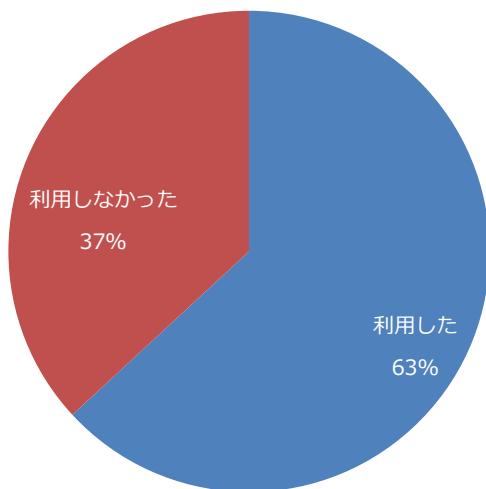
【コメント】

- ・スポーツばかりやっていて、勉強のほうは全くなのではないかという質問が多くあった。
- ・エントリーシートやWebテストの勉強時間を確保できない。
- ・今までの経験が違うため、体育会出身でない先輩・同期の話が参考にならない。
- ・部活の練習時間、最上級生として部活運営するためのミーティング、合宿などで、ESを提出する2~3ヶ月は多忙だったため、企業数を絞ってES提出せざるを得なかった。
- ・「体育会=○○」といった色眼鏡で見られる。

11.就職課・キャリアセンターは63.1%の学生が「利用した」と回答

半数以上の学生が、大学の就職課・キャリアセンターを利用したと回答しています。利用しなかった学生にその理由を尋ねたところ、以下のような回答がありました。

就職課・キャリアセンター利用有無



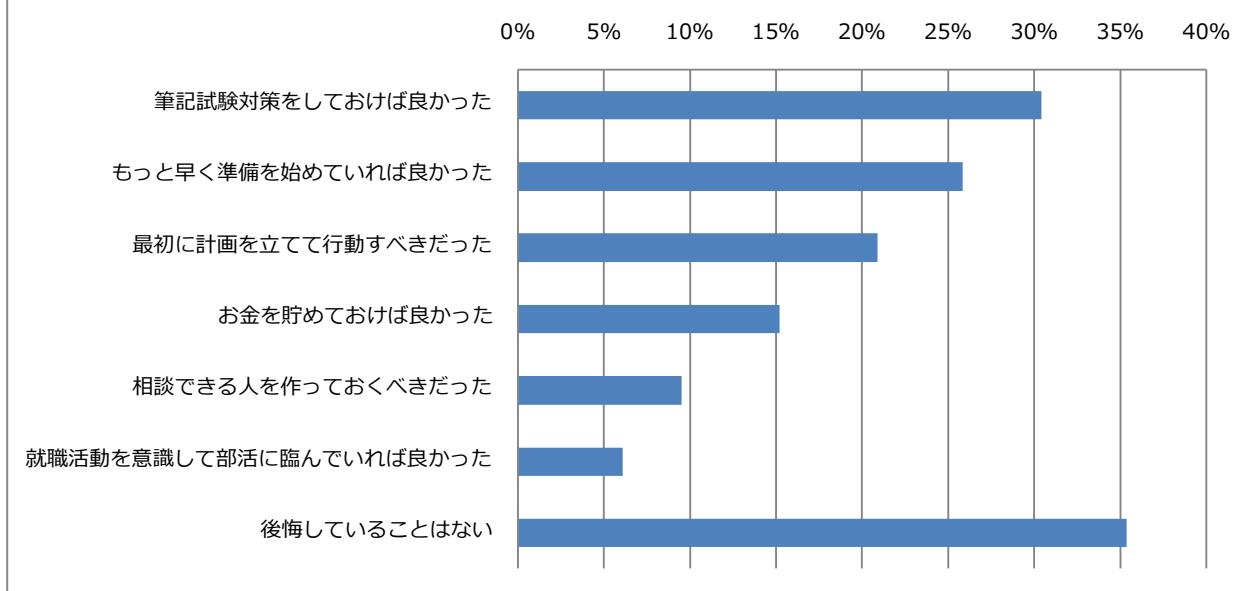
【就職課・キャリアセンターを利用しなかった理由】

- ・評判がよくないため利用しなかった
- ・行くのがたいへんだったので
- ・キャリア支援センターのやり方が気に入らなかった
- ・大学名でコンプレックスを抱えている私に対して、追い打ちをかけるようにスタッフの方が「そこは無理だよ」等と全く支援してもらえないから。
- ・他の就職情報サイトをよく利用していたから

12.就職活動において後悔していることは「筆記試験対策」が30.4%でトップ

次いで、「もっと早く準備を始めていれば良かった」が25.9%となっています。また35.4%の学生は「後悔していることはない」と回答しており、自身の活動に納得していることが伺えます。

就職活動において、後悔していること



【コメント】

- ・テストセンター対策をもっと早くにしておくべきだった。早く始めていればもっと選考に進めた企業があったと感じた。
- ・大企業ばかり見ていて、選考が進み残っている企業の駒が少なくなった時に内定をもらうことが出来るのか不安になった。同じ業界でもより多くの企業を見て視野を広く保つ努力をするべきだった。
- ・就活というものの具体的な内容についてもっと早くから知っておきたかったです。
- ・正直なところ、仕事がどのようなものかわからない人がほとんどだと思うので仕事に対してしっかり勉強することが就職活動で最も大事なことだと感じました。
- ・就職活動に関しては、体育会に所属していない友達のほうが多く時間を割いていると思うので、そういう人達ともコミュニケーションを取るべきでした。
- ・早い段階での内定が欲しいならとにかく早い段階で準備をしておいたほうが安心。
- ・就活が始まる前の準備も必要だったとは思うが、インターンなど半端にするよりも部活に打ち込んだ方が意義あると思った。
- ・交通費と宿泊費がかかりました。スーツ2着とコート、シャツ2枚を買ったのも意外と大きな出費でした。就活まで化粧をしたことがなかったので、化粧品をそろえるのにもお金がかかりました。